

伊予市学校給食センター



贈呈理由

蓄熱システムの導入により、環境負荷低減を実現



施設全景

伊予市は、愛媛県のほぼ中央に位置し、道後平野の西南部から四国山地の一部にわたり、西北は風光明媚な瀬戸内海に面している。伊予市には、花かつお、削り節、柑橘、ちりめんじゃこ、鰹、鯛、中山栗、椎茸など新鮮で魅力ある食材がたくさんある。また、栄養学の創始者、佐伯(さいき)矩(ただす)博士が幼少期に学ばれた所でもある。そこで同市は、「食」と「食文化」をテーマに伊豫國(いよこく)「あじの郷(くに)」づくり構想を定め、地域一体となって、豊かな自然と魅力ある地域資源を生かし、特産品の開発や販売拡大、後継者の育成を目指すとともに、食育と食文化の伝承を推進している。

省エネ省コストをオール電化・蓄熱システムで実現

伊予市学校給食センターは、老朽化が著しい単独調理場5施設と給食センター2施設を統合する整備事業として

計画され、2016年3月に竣工した。計画段階においては、省エネ、環境負荷の低減に加えて、食の安全・衛生管理、調理士の作業環境、運営コストなど、細部にまで検討を行った結果、オール電化設備が採用された。

給湯設備には、調理や食器洗浄などに大量のお湯を使用することから、省エネ性に優れ、一度に大量のお湯が使用できる業務用エコキュートを導入、環境負荷の低減に大きく寄与している。

さらに厨房では、蓄熱式蒸気発生器を採用し、煮物や汁物、炒め物など多様なメニューの調理を行い、省エネルギー、省コストの給食づくりを実現している。

供用開始後、各機器の運転状況を調査し、最大電力の抑制につながる作業工程の見直しや業務用エコキュートの運転を昼間のピーク時に抑制するなど、電力負荷の平準化にも取り組んでいる。

同給食センターでは、調理工程を見学できるほか、食に関する勉強会などが開催できる研修室を設け、食生活や地元食材、食文化などについて、給食づくりを通じた食育の推進に努めている。



業務用エコキュート

伊予市学校給食センター

所在地: 愛媛県伊予市大平甲911-2
 建築設計: 新企画設計(株)
 建築施工: 一宮工務店・国際土建共同企業体
 蓄熱設備設計: 新企画設計(株)
 蓄熱設備施工: (株)中電工
 延床面積: 2,923.16㎡
 竣工: 2016年(新設)

■蓄熱設備概要
 業務用エコキュート 27.6kW×4台(前川製作所)
 貯湯槽: 54㎡
 蓄熱式蒸気発生器 27kW×5台(IHD)